



TBS

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 株式会社TBSホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9401 URL <https://www.tbsholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略局長 (氏名) 佐藤 信一郎 TEL 03-3746-1111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	88,964	3.0	7,227	△17.5	13,794	10.5	7,599	△6.6
2022年3月期第1四半期	86,415	25.0	8,765	144.6	12,488	53.6	8,139	71.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △98,475百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 11,462百万円 (△81.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	44.82	—
2022年3月期第1四半期	47.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,051,438	776,942	72.5
2022年3月期	1,201,632	883,002	72.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 762,175百万円 2022年3月期 868,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	22.00	37.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	371,500	3.7	24,000	18.0	35,500	15.6	22,900	△28.5	136.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	171,591,065株	2022年3月期	171,591,065株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,043,173株	2022年3月期	874,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	169,528,724株	2022年3月期1Q	170,769,387株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、緩やかに持ち直しており、先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されています。ただし、世界的に金融引締めが進む中での金融資本市場の変動や原材料価格の上昇、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要があります。

テレビ広告市況のスポット広告費における関東地区投下量は前年同期比94.4%と鈍化しました。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、タイム・スポット収入は減収の一方、コンテンツ収入、雑貨小売販売事業の増収により、889億6千4百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、番組制作費の増加などにより、817億3千7百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

この結果、営業利益は72億2千7百万円(前年同期比17.5%減)となりました。また、経常利益は137億9千4百万円(同10.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は75億9千9百万円(同6.6%減)となりました。

◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は688億2千7百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は42億6千万円(同31.5%減)となりました。

(株)TBSテレビのテレビ部門の当第1四半期連結累計期間の売上高については、タイム・スポット収入の減収を配信の伸長などがカバーし、2億4千9百万円増収の481億1千2百万円(前年同期比0.5%増)となりました。このうち、タイム収入は195億6千5百万円(同3.5%減)、スポット収入は215億8百万円(同1.6%減)、国内番販や無料動画配信での広告収入を含むコンテンツ収入は58億2千万円(同24.4%増)となりました。タイム収入については「マスターズ」や「SDGsキャンペーン～地球を笑顔にするWeek～」が牽引したものの、レギュラー番組の減収の影響が大きく、減収となりました。スポット収入は、広告主による関東地区投下量が前年同期比94.4%となったことにより減収となりました。こうした中5局シェアは21.2%と前年同期比0.8ポイント増と大幅に向上しています。コンテンツ収入はドラマを中心とした無料・有料動画配信の好調により増収となりました。

(株)TBSテレビの事業部門の当第1四半期連結累計期間の売上高については、8億4千3百万円増収の59億9千8百万円(前年同期比16.4%増)となりました。マーチャンダイジングセンターは巣ごもり需要の反動で減収となったものの、催事・興行が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた前年に比べ増収となったほか、映画・アニメも「99.9-刑事専門弁護士-THE MOVIE」や映画「五等分の花嫁」といったヒット作に恵まれ増収となりました。

(株)TBSラジオは、タイム収入が落ち込んだことにより、2千万円減収の20億2千1百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

(株)BS-TBSは、タイム収入、スポット収入の増収に加え配信が好調なことにより、3億2千4百万円増収の41億9千1百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

(株)TBSグロウディアは、ショッピング部門売上、DVD販売の減少により、5億8千8百万円減収の60億2千4百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

(株)日音は、邦楽、洋楽収入が落ち込んだことにより、1億7千2百万円減収の19億5千万円(前年同期比8.1%減)となりました。

TCエンタテインメント(株)は、DVD販売の減少により、1億7千7百万円減収の17億8千8百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

費用面においては、番組制作費の増加に加え、事業部門での催事・興行の実施による費用が増加しました。この結果、同セグメントにおける営業利益は19億5千6百万円減益となる42億6千万円(前年同期比31.5%減)となりました。

◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は、160億9千8百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益は10億9百万円（同89.1%増）となりました。

スタイリングライフグループでは、通信販売事業の(株)ライトアップショッピングクラブは、前年好調であった受注の落ち着きにより減収減益となりました。

ビューティ&ウェルネス事業は、化粧品の開発・製造・販売を行っている「BCLカンパニー」では、国内、海外ともに苦戦しております。(株)CPコスメティクスでは、化粧品販売が増加したものの、販促費の増加等により、事業全体で減収減益となりました。

一方で、中核の雑貨小売販売事業の「プラザスタイルカンパニー」は、自粛要請解除による人流回復等により大幅な増収増益となり、スタイリングライフグループ全体で増収増益となりました。

◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は40億3千8百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益19億4千6百万円（同3.4%減）となりました。

収入面は増収の一方、費用面で修繕費が増加したことにより減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1兆514億3千8百万円で、前連結会計年度末に比べて1,501億9千3百万円の減少となりました。保有する株式の含み益の減少等により投資有価証券が1,584億9千9百万円減少したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,744億9千5百万円で、前連結会計年度末に比べて441億3千3百万円の減少となりました。保有する株式の含み益減少等に伴い繰延税金負債が480億8千2百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は7,769億4千2百万円で、前連結会計年度末に比べて1,060億5千9百万円の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き38億4千2百万円増加の一方、その他有価証券評価差額金が1,065億2千2百万円減少及び自己株式を37億5百万円取得したこと等によります。

この結果、自己資本比率は72.5%、1株当たりの純資産は4,522円01銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上、利益とも、概ね期首の想定範囲内で推移いたしました。2023年3月期の連結業績予想については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,767	85,861
受取手形、売掛金及び契約資産	66,688	62,632
有価証券	10	—
商品及び製品	7,506	7,794
番組及び仕掛品	6,308	7,105
原材料及び貯蔵品	648	672
前払費用	9,483	13,901
その他	9,406	20,113
貸倒引当金	△127	△125
流動資産合計	198,692	197,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	211,847	214,749
減価償却累計額	△128,468	△129,697
建物及び構築物 (純額)	83,379	85,052
機械装置及び運搬具	77,468	77,414
減価償却累計額	△68,969	△69,435
機械装置及び運搬具 (純額)	8,498	7,979
工具、器具及び備品	18,151	18,429
減価償却累計額	△15,668	△15,856
工具、器具及び備品 (純額)	2,482	2,573
土地	144,169	158,837
リース資産	1,979	1,967
減価償却累計額	△1,671	△1,701
リース資産 (純額)	307	265
建設仮勘定	7,906	1,906
有形固定資産合計	246,744	256,615
無形固定資産		
ソフトウェア	6,465	7,252
のれん	9,611	9,162
その他	972	687
無形固定資産合計	17,050	17,102
投資その他の資産		
投資有価証券	726,947	568,447
長期貸付金	187	185
繰延税金資産	2,311	1,687
長期前払費用	216	177
その他	9,667	9,448
貸倒引当金	△186	△182
投資その他の資産合計	739,144	579,764
固定資産合計	1,002,939	853,481
資産合計	1,201,632	1,051,438

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,956	36,809
1年内返済予定の長期借入金	—	2,000
未払金	14,678	13,814
未払法人税等	3,133	2,971
未払消費税等	2,593	2,363
未払費用	1,676	1,602
賞与引当金	4,018	1,148
役員賞与引当金	27	2
固定資産撤去費用引当金	136	91
その他	9,370	21,160
流動負債合計	75,592	81,965
固定負債		
長期借入金	26,000	24,000
退職給付に係る負債	14,689	14,598
リース債務	186	150
繰延税金負債	186,409	138,326
その他	15,752	15,454
固定負債合計	243,037	192,530
負債合計	318,629	274,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	42,576	42,576
利益剰余金	357,818	361,660
自己株式	△1,552	△5,258
株主資本合計	453,829	453,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	414,390	307,868
繰延ヘッジ損益	25	31
為替換算調整勘定	81	192
退職給付に係る調整累計額	127	116
その他の包括利益累計額合計	414,625	308,209
非支配株主持分	14,547	14,766
純資産合計	883,002	776,942
負債純資産合計	1,201,632	1,051,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	86,415	88,964
売上原価	56,001	59,076
売上総利益	30,413	29,888
販売費及び一般管理費	21,648	22,661
営業利益	8,765	7,227
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	4,177	6,499
持分法による投資利益	—	86
その他	128	177
営業外収益合計	4,309	6,766
営業外費用		
支払利息	23	20
持分法による投資損失	80	—
固定資産除却損	47	26
投資事業組合運用損	315	32
控除対象外消費税等	30	40
その他	88	80
営業外費用合計	586	199
経常利益	12,488	13,794
特別利益		
投資有価証券売却益	1,081	533
特別利益合計	1,081	533
特別損失		
投資有価証券評価損	103	1,266
事業構造改善費用	1,176	—
感染症拡大に伴う損失	※ 150	—
特別損失合計	1,430	1,266
税金等調整前四半期純利益	12,139	13,061
法人税、住民税及び事業税	2,443	3,609
法人税等調整額	1,723	1,509
法人税等合計	4,166	5,118
四半期純利益	7,972	7,942
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△166	343
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,139	7,599

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	7,972	7,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,518	△106,528
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△0	111
退職給付に係る調整額	△11	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	12
その他の包括利益合計	3,489	△106,417
四半期包括利益	11,462	△98,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,629	△98,817
非支配株主に係る四半期包括利益	△166	341

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 感染症拡大に伴う損失

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの要請や声明等を踏まえ、イベントの中止、店舗営業の自粛により発生した固定費(人件費・賃借費・減価償却費)等を「感染症拡大に伴う損失」として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,230	14,234	3,950	86,415	—	86,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	0	1,246	1,331	△1,331	—
計	68,314	14,235	5,197	87,747	△1,331	86,415
セグメント利益	6,216	533	2,014	8,764	0	8,765

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,827	16,098	4,038	88,964	—	88,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	137	0	1,285	1,423	△1,423	—
計	68,965	16,099	5,323	90,388	△1,423	88,964
セグメント利益	4,260	1,009	1,946	7,216	11	7,227

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(株)TBSテレビ事業収入の内訳 (第1四半期)

(単位:百万円)

区分	前第1四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	比較		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	47,862	48,112	249	0.5	192,616
タイム	20,277	19,565	△711	△3.5	81,831
スポット	21,866	21,508	△357	△1.6	84,559
コンテンツ	4,677	5,820	1,143	24.4	20,981
その他	1,041	1,217	175	16.9	5,243
事業	5,155	5,998	843	16.4	21,820
不動産	746	753	6	0.9	3,013
合計	53,764	54,864	1,099	2.0	217,450